



※受理年月日	年 月 日
※受理番号	42
※備考	

大規模小売店舗届出書

令和8年5月28日

埼玉県知事 様

名 称：株式会社 コスモス薬品
代表者氏名：代表取締役 横山英昭
住 所：福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号

大規模小売店舗立地法第5条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1 大規模小売店舗の名称及び所在地

名 称 ドラッグコスモス籠原店
所在地 埼玉県熊谷市新堀字北原1055番1 ほか

2 大規模小売店舗において小売業を行う者

名 称：株式会社 コスモス薬品
代表者氏名：代表取締役 横山英昭
住 所：福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号

3 大規模小売店舗の新設をする日

令和9年1月29日

4 大規模小売店舗内の店舗面積の合計 1,420㎡

5 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

(1) 駐車場の位置及び収容台数

	位 置	収容台数
駐車場	図3 建物配置図 参照	48台
合 計		48台

別途、従業員用駐車場12台

(2) 駐輪場の位置及び収容台数

	位 置	収容台数
駐輪場 1	図 3 建物配置図 参照	25 台
駐輪場 2	図 3 建物配置図 参照	16 台
合 計		41 台

(3) 荷さばき施設の位置及び面積

	位 置	面 積
荷さばき施設	図 3 建物配置図 参照	112.5 m ²
合 計		112.5 m ²

(4) 廃棄物等の保管施設の位置及び容量

	位 置	容 積
廃棄物保管施設	図 3 建物配置図 参照	14.5 m ³
合 計		14.5 m ³

6 大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

(1) 大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻

午前 9 時 00 分～午後 9 時 50 分

(2) 来客が駐車場を利用することができる時間帯

午前 8 時 30 分～午後 10 時 00 分

(3) 駐車場の自動車の出入口の数及び位置

	位 置	出入口の数
入口 1	図 3 建物配置図 参照	入口 1 か所
出口 1		出口 1 か所
合 計		入口 1 か所 出口 1 か所

(4) 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯

午前 6 時～午後 10 時

【添付書類】

1. 法人にあってはその登記事項証明書

別添参照

2. 主として販売する物品の種類

食料品、医薬品、生活雑貨

3. 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面

図 2 周辺見取図

図 3 建物配置図

4. 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠

必要駐車場台数算出根拠

事項等		各項目算出のための計算式等
行政人口	189,758 人	令和 8 年 2 月 1 日現在 出典＝熊谷市ホームページ
地区の区分	その他地区	第一種住居地域、第二種住居地域
S:店舗面積	1.420 千 m ²	
A:店舗面積当たり 日來客数原単位	1,057 人/千 m ²	人口 40 万人未満 (1,100-30S)
B:ピーク率	14.4%	
L:駅からの距離	約 767m	駅名: JR 籠原駅
C:自動車分担率	70%	人口 10 万人以上 40 万人未満
D:平均乗員人員	2.0 人/台	店舗面積 10 千 m ² 未満
E:平均乗車時間係数	0.63	店舗面積 10 千 m ² 未満 (30+5.5S) / 60
F:日來客台数	525 台/日	$A \times S \times C \div D$
G:ピーク 1 時間來店 台数	76 台/時	$A \times S \times B \times C \div D$
必要な駐車場台数	48 台	$A \times S \times B \times C \div D \times E$
届出の駐車場台数	48 台	

※小数点以下四捨五入

5. 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

(1) 駐車場出入口における入庫処理能力

店舗面積から想定される商圈及び周辺の人口集積の状況から来客の自動車の台数は、「交通計画書」12ページのとおり1日あたり525台と予測され、ピーク1時間当たりの来店台数は、76台と予測される。

① 駐車場の入庫処理能力

出入口の場所	1時間当たり入庫処理能力	ピーク1時間に予想される来客の自動車台数
駐車場入口1	450台	76台

※駐車場入口：3600秒÷8秒（立地法指針）＝450台

② 敷地内駐車待ちスペース

出入口の場所	駐車待ちスペースの有無	実際に用意する駐車待ちスペース	発券ブースの有無	必要駐車待ちスペース		スペース「無」の場合
				長さ(m)	算出根拠等	その理由・対策
駐車場入口1	無	0m	無	-32.52	$(1.3 \times 1.6 - 7.5) \times 6$	発券ブースは設置無

※ 必要駐車待ちスペース＝（当該入口の1分当たりの来台数×1.6－当該入口の1分当たりの入庫処理可能台数）×6m（平均車頭間隔）

発券ブースは設置しない。

(2) 左折入庫の徹底及び歩行者等の安全確保

駐車場は入口1ヶ所が設置されているが、案内経路を店舗内掲示等により表示し徹底する。

なお、オープン時及び繁忙期には、適宜、交通誘導員を配し、円滑な入出庫による周辺交通への影響の緩和や来客自動車の入出庫の際の歩行者等の安全を確保します。

交通への支障を回避するための方策等

交通整理員の配置

- ① 配置場所：駐車場入口1
- ② 配置期間：オープン時、繁忙期
- ③ 人数：1人程度
- ④ 時間帯：休日午後のピーク時を中心に営業時間内の混雑時

(3) 周辺の交差点等への影響

計画店舗開店後、影響を及ぼす、交差点1から交差点5について現況及び将来の交差点需要率、車線別混雑度を算出した。

交差点需要率の予測の結果、別添「交通計画書」17ページのとおり限界値である0.9以内に収まる結果となった。

(4) 住宅地への騒音の配慮

荷さばき車両・廃棄物収集車両についてはアイドリング禁止及び搬入搬出の作業を静かに行うように周知し、駐車場内での低速走行を徹底する。

6. 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

(1) 経路の設定

来店経路は主として、国道17号を走行するルートを経路とした。方向別の比率図と詳細の経路図を交通計画書14ページに示す。

ア. 経路等を来店客に知らせる方法

項目	具体的な内容
案内表示の設置 チラシの配布	駐車場入口1付近に看板を設置する。 オープン時の販促チラシに来店、退店経路を記載する。
交通整理員の配置	オープン時、繁忙期は、適宜、交通誘導員を配置し、円滑な交通誘導に努める。

(2) 交通量

ア. 現状の平日、休日（日曜日）それぞれの交通量調査結果

交通量の調査結果を表6-1及び表6-2に示す。

調査年月日	平日及び休日一日当たりの交通量調査、計画地東側交差点（交差点1）計画地東側交差点（交差点2）計画地西側交差点（交差点3）計画地北西側交差点（交差点4）計画地北東側交差点（交差点5） 令和7年10月26日（日） 令和7年10月27日（月）
調査場所	別途 交通処理計画書1ページ参照
調査の委託先	株式会社 C I C
調査方法	各交差点一日当たり流入車両を方向別にカウントした

表 6-1 交差点交通量調査結果（調査時間 8 時～23 時）

単位：台

交差点名	休日	平日
交差点 1（久保島交差点）	14,816	15,680
交差点 2（自衛隊入口交差点）	22,602	23,344
交差点 3（東方交差点）	28,790	27,748
交差点 4（東方 2 丁目交差点）	22,247	18,946
交差点 5（新堀北交差点）	16,221	18,235

表 6-2 交差点交通量調査結果（ピーク 1 時間）

単位：台

交差点名	休日		平日	
	ピーク時間帯	台数	ピーク時間帯	台数
交差点 1（久保島交差点）	13:00～14:00	1,324	8:00～9:00	1,534
交差点 2（自衛隊入口交差点）	14:00～15:00	1,946	14:00～15:00	2,050
交差点 3（東方交差点）	11:00～12:00	2,356	8:00～9:00	2,280
交差点 4（東方 2 丁目交差点）	14:00～15:00	2,006	9:00～10:00	2,060
交差点 5（新堀北交差点）	15:00～16:00	1,351	8:00～9:00	1,796

イ. 開店後の周辺道路の交通量の予測

予測方法	現況交通量に計画店舗ピーク時の来店客交通量を加えて開店後の交差点への影響を予測し、分析を行った。
予測の根拠	立地法指針の必要駐車台数計算式を基に算出している。
予測結果	一日来客車両台数 525 台 ピーク 1 時間車両台数 76 台 信号交通量調査地点の評価を交差点需要率より実施した。 結果は交差点需要率についてはすべての交差点が限界値である 0.9 を下回る結果である。（交通計画書 P17 参照）

(3) その他の施設の配置及び運営方法に関する計画

事項	対策
歩行者の交通の利便確保対策	夜間照明を点灯させる。 駐車場には照明灯を設置する。
交通事故防止対策	オープン時、繁忙期には交通整理員を出入口付近に配備する。 店舗内及び駐車場内に交通事故防止への掲示を行う。
その他	店舗開店後において地元からの要望等があれば必要に応じて看板等の対応を行う。

7. 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

荷さばき施設の計画

ア. 荷さばき施設の面積・構造

荷さばき施設

面 積	同時作業の可能な台数		待機スペースの有・無	防音等の設備
	想定する車両の大きさ	台数		
112.5 m ² (荷さばき施設)	2 t、10t (作業時間 10分・20分)	1 台	無	無

※作業時間 2 t : 10分 10 t 車 : 20分 廃棄物車両 : 10分

イ. 搬出入車両の出入口の数

専用出入口の有無	搬出入車両の出入口の数	対応等
無	1	車両運転手に十分な注意を実施する。

ウ. 荷さばきを行うことができる時間帯

荷さばき時間帯
午前 6 時～午後 10 時

エ. 荷さばき搬出入計画

荷さばき施設

搬出入時間帯 午前6時～午後10時

時間帯	搬出入車両				延べ 作業時間 (分)
	10 t 車両 (台)	2 t 車両 (台)	廃棄物 車両 (台)	合計 (台)	
6:00～7:00	1	0	0	1	20
7:00～8:00	1	0	0	1	20
8:00～9:00	0	0	0	0	0
9:00～10:00	0	0	1	1	10
10:00～11:00	0	0	1	1	10
11:00～12:00	0	0	0	0	0
12:00～13:00	0	0	0	0	0
13:00～14:00	0	1	0	1	10
14:00～15:00	0	1	0	1	10
15:00～16:00	0	0	0	0	0
16:00～17:00	0	0	0	0	0
17:00～18:00	0	0	0	0	0
18:00～19:00	0	1	0	1	10
19:00～20:00	0	0	0	0	0
20:00～21:00	0	0	0	0	0
21:00～22:00	0	1	0	1	10
合計	2	4	2	8	-

10 t 車 20分 2 t 車 10分 廃棄物車両の作業時間 10分

- ・同時作業可能台数 1台
- ・10 t 車については通学時間帯を避け営業時間前の搬出入としています。
7時台の10 t 車については、夏季、冬季の繁忙時に搬出入とします。
- 2 t 車については主たる通学時間帯は避ける計画としています。

8 遮音壁を設置する場合には、その位置及び高さを示す図面

	高さ	厚さ	材質・構造	位置
防音壁	1.8m	53mm	鉄・アルミ	店舗東側 (キュービクルの周囲へ設置)

9 空調及び冷蔵設備の室外機、排気口、キュービクルを設置する場合にあっては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面

騒音発生源		騒音レベル (dB)	根拠	騒音継続時間及び 騒音発生回数	
定 常 騒 音	F-1	ファン	39.5	メーカー値(機側1m)	8:30~22:00
	F-2	ファン	39.5	メーカー値(機側1m)	8:30~22:00
	C-1	キュービクル	56.0	規 格 値(機側1m)	24時間
	R-1	冷凍室外機	52.5	メーカー値(機側1m)	24時間
	R-2	冷凍室外機	52.5	メーカー値(機側1m)	24時間
	R-3	冷凍室外機	51.5	メーカー値(機側1m)	24時間
	R-4	冷凍室外機	51.5	メーカー値(機側1m)	24時間
	R-5	冷凍室外機	51.5	メーカー値(機側1m)	24時間
	S-1	空調室外機	58.0	メーカー値(機側1m)	8:30~22:00
	S-2	空調室外機	58.0	メーカー値(機側1m)	8:30~22:00
	S-3	空調室外機	58.0	メーカー値(機側1m)	8:30~22:00
	S-4	空調室外機	63.0	メーカー値(機側1m)	8:30~22:00
	S-5	空調室外機	63.0	メーカー値(機側1m)	8:30~22:00
	S-6	空調室外機	63.0	メーカー値(機側1m)	8:30~22:00
	S-7	空調室外機	63.0	メーカー値(機側1m)	8:30~22:00
S-8	空調室外機	63.0	メーカー値(機側1m)	8:30~22:00	
S-9	空調室外機	63.0	メーカー値(機側1m)	8:30~22:00	
S-10	空調室外機	63.0	メーカー値(機側1m)	8:30~22:00	
S-11	空調室外機	63.0	メーカー値(機側1m)	8:30~22:00	
S-12	空調室外機	58.0	メーカー値(機側1m)	8:30~22:00	
S-13	空調室外機	58.0	メーカー値(機側1m)	8:30~22:00	
S-14	空調室外機	54.0	メーカー値(機側1m)	8:30~22:00	
S-15	空調室外機	54.0	メーカー値(機側1m)	8:30~22:00	
変 動 騒 音	荷・廃	台車走行	71	手引き	6台×10回/台×5秒
	大5	荷さばき車両後進バックアップ	90	手引き	6台×5秒
	大6	荷さばき車両後進バックアップ	90	手引き	6台×5秒
	大7	荷さばき車両後進バックアップ	90	手引き	6台×5秒
	大5	廃棄物収集車両後進バックアップ	90	手引き	2台×5秒
	大6	廃棄物収集車両後進バックアップ	90	手引き	2台×5秒
	大7	廃棄物収集車両後進バックアップ	90	手引き	2台×5秒
荷・廃	廃棄物収集作業音	90	手引き	2台×600秒	
衝 撃 騒 音	荷・廃	荷下ろし作業音(リフトと床面の衝撃音)	85.6	手引き	6台×10回/台
	荷・廃	荷下ろし作業音(リフト昇降音)	86.1	手引き	6台×10回/台
自動車走行音(来客・従業員車両)20km/h走行		82	手引き パワーレベル	昼間 537台 ^{*1}	
自動車走行音(大型車両)20km/h走行 ^{*2}		101.8	ASJモデル パワーレベル	荷さばき車両 6台(昼間) 廃棄物収集車両 2台(昼間)	

位置については図面を参照

10 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

〈昼間 等価騒音レベル〉

騒音発生源	発生源の 高さ (m)	騒音継続時間及び 騒音発生回数	基準距離の 騒音レベル等		予測地点までの距離(m) (各地点からの距離)				予測地点における騒音レベル(dB)					
			レベル (dB)	根拠	A	B	C	D	A	B	C	D		
定常騒音	F-1	ファン	4.2	8:30~22:00	39.5	メーカー値	83.4	24.0	11.4	45.6	1.1	11.9	18.4	6.3
	F-2	ファン	4.2	8:30~22:00	39.5	メーカー値	83.4	23.3	12.1	46.5	1.1	12.2	17.8	6.2
	C-1	キュービクル	1.0	24時間	56.0	規格値	84.3	16.4	24.9	59.7	17.5	31.7	28.1	20.5
	R-1	冷凍室外機	5.6	24時間	52.5	メーカー値	66.3	22.3	25.4	37.7	16.1	25.5	24.4	21.0
	R-2	冷凍室外機	5.6	24時間	52.5	メーカー値	67.8	22.3	23.9	37.7	15.9	25.5	24.9	21.0
	R-3	冷凍室外機	5.6	24時間	51.5	メーカー値	66.2	20.4	25.9	39.6	15.1	25.3	23.2	19.5
	R-4	冷凍室外機	5.6	24時間	51.5	メーカー値	67.7	20.4	24.4	39.6	14.9	25.3	23.8	19.5
	R-5	空調室外機	5.6	24時間	51.5	メーカー値	65.4	10.5	30.7	49.7	15.2	31.1	21.8	17.6
	S-1	空調室外機	6.0	8:30~22:00	58.0	メーカー値	55.8	45.2	44.0	24.1	23.1	24.9	25.1	30.4
	S-2	空調室外機	6.0	8:30~22:00	58.0	メーカー値	55.3	44.0	43.5	25.0	23.1	25.1	25.2	30.0
	S-3	空調室外機	6.0	8:30~22:00	58.0	メーカー値	54.8	42.8	43.1	26.1	23.2	25.4	25.3	29.7
	S-4	空調室外機	5.6	8:30~22:00	63.0	メーカー値	67.2	30.7	25.8	29.3	26.5	33.3	34.8	33.7
	S-5	空調室外機	5.6	8:30~22:00	63.0	メーカー値	67.0	29.4	25.6	30.6	26.5	33.6	34.8	33.3
	S-6	空調室外機	5.6	8:30~22:00	63.0	メーカー値	66.8	27.6	25.3	32.4	26.5	34.2	34.9	32.8
	S-7	空調室外機	5.6	8:30~22:00	63.0	メーカー値	66.6	26.3	25.3	33.7	26.5	34.6	34.9	32.4
S-8	空調室外機	5.6	8:30~22:00	63.0	メーカー値	68.7	30.7	24.3	29.3	26.3	33.3	35.3	33.7	
S-9	空調室外機	5.6	8:30~22:00	63.0	メーカー値	68.5	29.4	24.1	30.6	26.3	33.6	35.4	33.3	
S-10	空調室外機	5.6	8:30~22:00	63.0	メーカー値	68.2	27.6	23.9	32.4	26.3	34.2	35.4	32.8	
S-11	空調室外機	5.6	8:30~22:00	63.0	メーカー値	68.1	26.3	23.8	33.7	26.3	34.6	35.5	32.4	
S-12	空調室外機	5.6	8:30~22:00	58.0	メーカー値	65.7	9.0	31.6	51.3	21.6	38.9	28.0	23.8	
S-13	空調室外機	5.6	8:30~22:00	58.0	メーカー値	66.9	8.8	30.5	51.3	21.5	39.1	28.3	23.8	
S-14	空調室外機	0.4	8:30~22:00	54.0	メーカー値	84.2	19.4	18.8	53.9	15.5	28.2	28.5	19.4	
S-15	空調室外機	0.4	8:30~22:00	54.0	メーカー値	84.4	18.9	20.0	55.1	15.5	28.5	28.0	19.2	
変動騒音	自動車走行音 (乗客・従業員車両=82dB, 搬入車両=101.8dB (いざいれもラナベ))				次表 (昼間自動車走行音) 参照				42.2	40.7	37.4	39.7		
	荷・廃	台車走行	0.0	6台×10回/台×5秒	71	手引き	47.4	23.0	52.0	61.1	37.5	43.8	36.7	35.3
	大5	荷さばき車両後進バックアップ	0.5	6台×5秒	90	手引き	41.5	29.1	52.1	54.0	57.6	60.7	55.7	55.4
	大6	荷さばき車両後進バックアップ	0.5	6台×5秒	90	手引き	41.0	33.6	50.7	47.0	57.7	59.5	55.9	56.6
	大7	荷さばき車両後進バックアップ	0.5	6台×5秒	90	手引き	44.3	25.6	51.9	57.6	57.1	61.8	55.7	54.8
	大5	廃棄物収集車両後進バックアップ	0.5	2台×5秒	90	手引き	41.5	29.1	52.1	54.0	57.6	60.7	55.7	55.4
	大6	廃棄物収集車両後進バックアップ	0.5	2台×5秒	90	手引き	41.0	33.6	50.7	47.0	57.7	59.5	55.9	56.6
大7	廃棄物収集車両後進バックアップ	0.5	2台×5秒	90	手引き	44.3	25.6	51.9	57.6	57.1	61.8	55.7	54.8	
荷・廃	廃棄物収集作業音	1.0	2台×600秒	90	手引き	47.4	22.8	51.9	61.0	56.5	62.8	55.7	54.3	
衝撃騒音	荷・廃	荷下ろし作業音(リフト用衝撃音)	0.0	6台×10回/台	85.6	手引き	47.4	23.0	52.0	61.1	52.1	58.4	51.3	49.9
荷・廃	荷下ろし作業音(リフト昇降音)	0.5	6台×10回/台	86.1	手引き	47.4	22.9	51.9	61.0	52.6	58.9	51.8	50.4	
各予測地点における昼間 (午前6時~午後10時) の等価騒音レベル					各予測地点における騒音に係る環境基準 (平成10年9月30日環境庁告示第64号) に基づく当該出店地の地域の類型及び基準値									
昼間等価騒音レベル 各予測地点の合成値					地域類型				基準値					
予測地点 A			45.0 dB		地域類型 B				55dB					
予測地点 B			49.7 dB		地域類型 B				55dB					
予測地点 C			46.2 dB		地域類型 B				55dB					
予測地点 D			45.3 dB		地域類型 B				55dB					

予測方法は、別添「大規模小売店舗出店に伴う騒音予測結果報告書」を参照

<昼間 自動車走行音>

騒音発生源	発生源の 高さ (m)	基準距離の 騒音レベル等		予測地点までの距離(m) (各地点からの距離)				予測地点における騒音レベル(dB)				騒音継続時間または 騒音発生回数	
		ハールレベル (dB)	根拠	A	B	C	D	A	B	C	D		
車1	来客車両等走行音	0.0	82	手引き	19.0	51.3	73.0	64.1	48.4	39.8	36.7	37.9	537台
車2	来客車両等走行音	0.0	82	手引き	36.4	62.3	69.7	44.6	42.8	38.1	37.1	41.0	537台×往復
車3	来客車両等走行音	0.0	82	手引き	30.6	56.8	68.1	48.1	44.3	38.9	37.3	40.3	537台×往復
車4	来客車両等走行音	0.0	82	手引き	26.2	51.9	67.4	52.8	45.6	39.7	37.4	39.6	537台×往復
車5	来客車両等走行音	0.0	82	手引き	23.9	48.1	67.8	58.2	46.4	40.4	37.4	38.7	537台×往復
車6	来客車両等走行音	0.0	82	手引き	24.4	45.4	69.2	64.3	46.3	40.9	37.2	37.8	537台×往復
車7	来客車両等走行音	0.0	82	手引き	29.7	40.3	66.0	64.7	44.5	41.9	37.6	37.8	537台×往復
車8	来客車両等走行音	0.0	82	手引き	38.1	31.8	57.5	59.8	42.4	43.9	38.8	38.5	537台×往復
車9	来客車両等走行音	0.0	82	手引き	41.5	29.2	52.2	54.1	41.6	44.7	39.6	39.3	537台×往復
車10	来客車両等走行音	0.0	82	手引き	41.0	33.6	50.8	47.0	41.7	43.5	39.9	40.6	537台×往復
車11	来客車両等走行音	0.0	82	手引き	42.2	39.3	50.7	40.4	41.5	42.1	39.9	41.9	537台×往復
車12	来客車両等走行音	0.0	82	手引き	44.9	45.8	52.0	34.6	41.0	40.8	39.7	43.2	537台×往復
車13	来客車両等走行音	0.0	82	手引き	48.8	52.8	54.5	29.9	40.2	39.5	39.3	44.5	537台×往復
車14	来客車両等走行音	0.0	82	手引き	48.1	58.4	59.8	31.8	40.4	38.7	38.5	43.9	537台×往復
車15	来客車両等走行音	0.0	82	手引き	42.2	58.4	59.8	39.4	41.5	38.7	38.5	42.1	537台×往復
車16	来客車両等走行音	0.0	82	手引き	36.5	62.8	67.1	47.5	42.8	38.0	37.5	40.5	537台
大1	搬入車両等走行音	0.0	101.8	ASJ	19.0	51.3	73.0	64.1	68.2	59.6	56.5	57.7	8台
大2	搬入車両等走行音	0.0	101.8	ASJ	24.4	45.4	69.2	64.3	66.1	60.7	57.0	57.6	8台
大3	搬入車両等走行音	0.0	101.8	ASJ	29.7	40.3	66.0	64.7	64.3	61.7	57.4	57.6	8台
大4	搬入車両等走行音	0.0	101.8	ASJ	38.1	31.8	57.5	59.8	62.2	63.7	58.6	58.3	8台
大5	搬入車両等走行音	0.0	101.8	ASJ	41.5	29.2	52.2	54.1	61.4	64.5	59.4	59.1	8台×往復
大6	搬入車両等走行音	0.0	101.8	ASJ	41.0	33.6	50.8	47.0	61.5	63.3	59.7	60.4	8台×往復
大7	搬入車両等走行音	0.0	101.8	ASJ	44.3	25.7	51.9	57.6	60.9	65.6	59.5	58.6	8台×往復
大8	搬入車両等走行音	0.0	101.8	ASJ	42.2	39.3	50.7	40.4	61.3	61.9	59.7	61.7	8台
大9	搬入車両等走行音	0.0	101.8	ASJ	44.9	45.8	52.0	34.6	60.8	60.6	59.5	63.0	8台
大10	搬入車両等走行音	0.0	101.8	ASJ	48.8	52.8	54.5	29.9	60.0	59.3	59.1	64.3	8台
大11	搬入車両等走行音	0.0	101.8	ASJ	48.1	58.4	59.8	31.8	60.2	58.5	58.3	63.7	8台
大12	搬入車両等走行音	0.0	101.8	ASJ	42.2	62.8	67.1	39.4	61.3	57.8	57.3	61.9	8台
大13	搬入車両等走行音	0.0	101.8	ASJ	36.5	67.5	74.5	47.5	62.6	57.2	56.4	60.3	8台
各予測地点における昼間（午前6時～午後10時） の自動車走行音 等価騒音レベル					備考： 来客車両台数について 日來客原単位 1057人×店舗面積 1,420千㎡×自動車分担率 70%÷平均乗車人員 2人≒525台/日と設定 従業員車両台数について、従業員用駐車台数 12台と同数に設定 来客車両等は、来客車両(525台)+従業員車両(12台)=537台とし、車両動線上を往復走行するものと設定 搬入車両等台数について、荷さばき車両 6台、廃棄物収集車両 2台と設定								
昼間等価騒音レベル 各予測地点の合成値													
予測地点 A		42.2 dB											
予測地点 B		40.7 dB											
予測地点 C		37.4 dB											
予測地点 D		39.7 dB											

予測方法は、別添「大規模小売店舗出店に伴う騒音予測結果報告書」を参照

<夜間 等価騒音レベル>

騒音発生源	発生源の 高さ (m)	騒音継続時間及び 騒音発生回数	基準距離の 騒音レベル等		予測地点までの距離(m) (各地点からの距離)				予測地点における騒音レベル(dB)				
			レベル (dB)	根拠	A	B	C	D	A	B	C	D	
C-1	キュービクル	24時間	56.0	規格値	84.3	16.4	24.9	59.7	17.5	31.7	28.1	20.5	
R-1	冷凍室外機	24時間	52.5	メーカー値	66.3	22.3	25.4	37.7	16.1	25.5	24.4	21.0	
R-2	冷凍室外機	24時間	52.5	メーカー値	67.8	22.3	23.9	37.7	15.9	25.5	24.9	21.0	
R-3	冷凍室外機	24時間	51.5	メーカー値	66.2	20.4	25.9	39.6	15.1	25.3	23.2	19.5	
R-4	冷凍室外機	24時間	51.5	メーカー値	67.7	20.4	24.4	39.6	14.9	25.3	23.8	19.5	
R-5	空調室外機	24時間	51.5	メーカー値	65.4	10.5	30.7	49.7	15.2	31.1	21.8	17.6	
各予測地点における夜間（午後10時～午前6時） の等価騒音レベル					各予測地点における騒音に係る環境基準（平成10年9月30日環境庁告示第64号）に 基づく当該出店地の地域の類型及び基準値								
昼間等価騒音レベル 各予測地点の合成値					地域類型				基準値				
予測地点 A					地域類型 B				45dB				
予測地点 B					地域類型 B				45dB				
予測地点 C					地域類型 B				45dB				
予測地点 D					地域類型 B				45dB				

予測方法は、別添「大規模小売店舗出店に伴う騒音予測結果報告書」を参照

予測結果の評価について

等価騒音レベルの予測結果は、昼間及び夜間ともに各予測地点で環境基準を下回る結果となったことから、周辺環境への影響は軽微であると判断される。

1 1 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

<夜間最大値：定常騒音 敷地境界>

騒音発生源	発生源高さ (m)	騒音継続時間 または 騒音発生回数	基準距離の騒音レベル (dB)		予測地点			予測地点における騒音レベル (dB)		
			レベル (dB)	根拠	地点	高さ (m)	距離 (m)			
定常騒音	C-1	キュービクル	5.3	24時間	56.0	規格値	b3	1.0	2.6	39.0
	R-1	冷凍室外機	5.5	24時間	52.5	メーカー値	c1	5.6	25.2	24.5
	R-2	冷凍室外機	5.5	24時間	52.5	メーカー値	c1	5.6	23.7	25.0
	R-3	冷凍室外機	5.5	24時間	51.5	メーカー値	b2	5.6	20.4	25.3
	R-4	冷凍室外機	5.5	24時間	51.5	メーカー値	c2	5.6	23.8	24.0
R-5	冷凍室外機	5.5	24時間	51.5	メーカー値	b1	5.6	10.3	31.3	
各予測地点における夜間（午後10時～午前6時）の最大騒音レベル					各予測地点における騒音規制法における夜間の規制基準値に基づく当該出店地の地域の類型及び基準値					
夜間の最大騒音レベル					区域の区分			基準値		
予測地点b1			31.3 dB		第2種区域			45dB		
予測地点b2			25.3 dB		第2種区域			45dB		
予測地点b3			39.0 dB		第2種区域			45dB		
予測地点c1			25.0 dB		第2種区域			45dB		
予測地点c2			24.0 dB		第2種区域			45dB		

予測方法は、別添「大規模小売店舗出店に伴う騒音予測結果報告書」を参照

<夜間最大値：定常騒音 合成値>

騒音発生源	発生源高さ (m)	騒音継続時間及び騒音発生回数	基準距離の騒音レベル (dB)		予測地点までの距離 (m)		予測地点における騒音レベル (dB)			
			レベル (dB)	根拠	b	c	b	c		
定常騒音	C-1	キュービクル	1.0	24時間	56.0	規格値	16.6	25.0	24.6	21.0
	R-1	冷凍室外機	5.6	24時間	52.5	メーカー値	22.3	25.4	25.5	24.4
	R-2	冷凍室外機	5.6	24時間	52.5	メーカー値	22.3	23.9	25.5	24.9
	R-3	冷凍室外機	5.6	24時間	51.5	メーカー値	20.4	25.8	25.3	23.3
	R-4	冷凍室外機	5.6	24時間	51.5	メーカー値	20.4	24.4	25.3	23.8
R-5	冷凍室外機	5.6	24時間	51.5	メーカー値	10.5	30.7	31.1	21.8	
夜間の最大騒音レベルの合成値					区域の区分		基準値			
予測地点b			34.7 dB		第2種区域		45dB			
予測地点c			31.2 dB		第2種区域		45dB			

予測方法は、別添「大規模小売店舗出店に伴う騒音予測結果報告書」を参照

予測結果の評価について

予測の結果、全ての予測地点で規制基準を下回る結果となった。このことから、周辺環境への影響は軽微であると判断されるが、店舗の開店後は周辺環境への騒音の配慮を行うとともに、店舗の運営に関して周辺住民から苦情・問い合わせ等があった場合は誠意をもって対応することとする。

12. 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

ア. 廃棄物等の保管場所の計画 図3 建物配置図、図4 平面図参照

容量	面積	排出方法	洗浄設備	冷蔵設備の有無	付属設備の有無	施設配置
14.5m ³	9.7m ²	2tトラック	無	無	無	別途図面

イ. 廃棄物等の排出量等の予測

業態	生活関連品専門店					
廃棄物種別	S:店舗面積		A:一日当たり廃棄物排出量指針 原単位×S	B:平均保管 日数	C:見かけ比 重 (t/m ³)	排出予測量 A×B÷C
紙製廃棄物等	6千m ² 以下	1.420千m ²	0.208×1.420t	1日	0.10	2.95m ³
			計 0.295360t			
金属製廃棄物等	6千m ² 以下	1.420千m ²	0.007×1.420t	1日	0.10	0.10m ³
			計 0.009940t			
ガラス製廃棄物等	6千m ² 以下	1.420千m ²	0.006×1.420t	1日	0.10	0.09m ³
			計 0.008520t			
プラスチック製廃棄物等	6千m ² 以下	1.420千m ²	0.020×1.420t	1日	0.01	2.84m ³
			計 0.028400t			
生ごみ等	6千m ² 以下	1.420千m ²	0.169×1.420t	1日	0.55	0.44m ³
			計 0.239980t			
その他の可燃性廃棄物等		1.420千m ²	0.054×1.420t	1日	0.38	0.20m ³
			計 0.076680t			
				合計	6.62m ³	
				保管容量	14.5m ³	

指針に基づく配慮事項

1. 必要な駐輪場の確保と適切な管理

必要な駐輪場台数は指針より算出しました。

指針の参考値による必要駐輪台数の算出

S : 店舗面積 1,420 m²

必要駐輪台数算出式 S : 1,420 m²/35 m²

必要駐輪台数 41 台

本計画店舗駐輪台数 41 台

- ・警備員（または従業員）等による定期的な巡回により、駐輪場を適正に管理します。

2. 歩行者の通行の利便の確保等

- ・掲示板等に歩行者動線を掲示し、歩行者の利便性を確保します。
- ・身障者用駐車場を店舗出入口に近い場所に設置しています。

3. 廃棄物減量化及びリサイクルについての配慮

- ・段ボールのリサイクルと共に取引先企業とも連携し梱包材使用量の削減に努めます。
- ・各店舗に責任者を置き廃棄物の分別化を徹底して再利用を進め、最終廃棄ごみゼロを目指しています。
- ・容器包装リサイクル法に基づき、廃棄物の発生抑制・再利用・減量化に努めます。

4. 防災・防犯対策への協力

- ・防災協定等の各関連機関、警察署等からの締結要請があった場合は、可能な範囲内で協力をを行います。
- ・災害時には早急に営業を再開し生活必需品の供給ができる様に努めます。
- ・防災マニュアルを作成し、従業員の防犯意識の推進に努めます。
- ・店内に防犯カメラを設置します。
- ・警備員（または従業員）等による定期的な巡回及び定期的な植栽の剪定等により、駐車場及び駐輪場での犯罪を未然に防ぎます。
- ・店舗営業時間終了後は、機械警備による通報体制を整えます。
- ・青少年の非行防止及び夜間、青少年の溜まり場にならないように、従業員（警備員）等による施設内の定期的な巡回並びに声かけを実施します。
- ・万が一、犯罪や青少年の非行の問題が発生した場合は、警察等関連機関と連携し、速やかに問題解決に向けて対応いたします。
- ・営業時間外は駐車場出入口にバリカー等にて施錠します。

5. 騒音問題に対応するための対応策

- ・BGM等の屋外宣伝活動は行いません。
- ・室外機・吸排換気口については、低騒音機器を使用し、周辺住民への影響が少ない位置に設置します。
- ・設備機器は稼働時間帯も含め点検整備を行い管理します。
- ・駐車場内の車路は段差がなく静穏な走行ができる構造とし、騒音低減を図ります。
- ・不必要なアイドリング、クラクション、空ぶかし等の防止対策として、駐車場内に看板を設置し、来客者の騒音の低減意識の啓蒙に努めます。
- ・荷さばき作業場所は段差のないコンクリート平滑仕上げ構造とし台車走行音を低減します。
- ・搬入業者に対しアイドリング禁止及び搬入搬出の作業を静かに行うよう徹底するとともに、低速での走行を徹底します。
- ・社内教育により作業員による荷さばき作業や廃棄物の収集作業の騒音防止意識を徹底します。
- ・廃棄物収集作業は早朝、深夜は行わず、回収時間の制限を業者に呼びかけ、作業時間の短縮を図ります。

6. 廃棄物等の保管について

- ・保管場所は十分なスペースを確保します。
- ・施設は定期的に清掃を実施し臭気の発生抑制に努めます。

7. 廃棄物等の運搬や処理について

- ・紙類・金属類・ガラス類・プラスチック類・その他可燃性廃棄物の運搬にあたっては、適正な処理が行われる市指定廃棄物処理業者に委託します。
- ・再資源可能な（段ボール・古紙・空き缶・ペットボトル・発泡スチロール等）については、容器包装リサイクル法に基づき、処理いたします。
- ・廃棄物は基本毎日回収し、収集作業に十分なスペースを確保し作業時間の短縮に努めます。

8. その他設置者としての廃棄物等に関連する対応方策について

- ・責任者を置き廃棄物の分別化を徹底して再利用を進め、最終廃棄物は適正に処理されるよう管理いたします。

9. 街並みづくり等への配慮等

- ・敷地外周部に緑地帯を設置して出入口の見通しを確保しながら低木等で緑化します。
- ・建物の外壁は極彩色は使用せず周辺の景観に配慮した色とします。
- ・夜間照明は周辺の住居等に悪影響を与えないよう敷地外周側より内部側へ照射角度を向け、外部への直接照射の出ないように設置します。

10. その他

- ・店舗に関して、周辺住民等からの苦情・問い合わせ等があった場合、誠意を持って迅速に対応します。
- ・公的行事・地域の催し物等が実施される際には、場所の提供等可能な範囲で協力します。

【ガイドラインに基づく配慮事項】

1. 地域の祭りや各種行事への参加などまちづくりへの協力

- ・地域の祭りや各種行事等へ積極的に参加・協力いたします。
- ・従業員の地域行事、学校行事への参加に協力します。
- ・チャリティーイベントへの積極的な参加を検討します。

2. 商店街、商工団体への加入や共同売り出しやイベント等への協力など

- ・商店会、商工団体への加入について要請があれば検討します。
- ・商店会、商工団体が実施する共同事業への協力を検討します。

3. 地元商業者のテナント出店や販売商品への配慮など

- ・地域内業者、企業との取引（商品販売、委託工事等）を検討します。

その他添付資料

図 1：広域見取図

図 2：周辺見取図

図 3：建物配置図

図 4：平面図

図 5：屋根伏図

図 6：立面図 1

図 7：立面図 2

図 8：求積図

図 9：騒音予測に関する図面

資料 1：交通計画書

資料 2：騒音予測報告書